

E B P M研修

対象 全職員
◎ オンライン研修が可能
◎ e-ラーニング置き換えが可能



研修の目標観

- 1 E B P M (Evidence Based Policy Making) の必要性と活用方法を理解する。
- 2 データ活用の基本を学ぶ。
- 3 証拠（データ）に基づく政策形成や評価の仕方を学習する。



研修のポイント

- ・地域課題に対し、住民に納得される証拠を示し政策を推進することが求められています。エビデンス（証拠・科学的根拠等）に基づいて効果的な政策立案や政策改善を行う方法を学びます。
- ・データ収集や活用の方法、データ分析の方法などを学習することで、業務遂行や課題解決に活かすことができます。

【EBPMが必要な理由】



	タイムスケジュール	講義形式
午前	<p>「E B P Mの必要な背景」</p> <ul style="list-style-type: none">・ E B P Mとは・ E B P Mが求められる背景・ E B P Mの特徴・ エビデンスとは <p>・ 演習「エビデンスとエピソード」</p> <p>・ 演習「政策形成過程での E B P Mの活用場面」</p> <p>「データ収集」</p> <ul style="list-style-type: none">・ データの種類・ 統計データ <p>・ 演習「活用できる情報源：R E S A S、統計G I Sなど」</p>	<p>講義</p> <p>個人・グループ演習</p> <p>個人・グループ演習</p> <p>講義</p> <p>講義/個人演習</p>
午後	<p>「データ分析」</p> <ul style="list-style-type: none">・ データから読み取れるもの、活用例・ エビデンスの質のレベル <p>「データの活用：証拠に基づく政策課題」</p> <ul style="list-style-type: none">・ 演習「ケース研究①：適切なデータ選択」・ 演習「ケース研究②：必要性を示すデータ選択」 <p>「研修の振り返り」</p>	<p>講義</p> <p>個人・グループ演習</p> <p>個人・グループ演習</p> <p>個人・グループ演習</p>